



新TDnet稼動に関する端末操作説明等について

平成20年3月、4月
全国証券取引所等合同セミナー

本日のご説明内容について

- ➡ リプレースに係る基本コンセプト
- ➡ 新TDnetの主な変更点
- ➡ 決算短信様式の提出方法(現行との相違点)
- ➡ 新TDnetにおける決算期別XBRL化の対象時期一覧表
- ➡ 新TDnetにおける決算短信に関するXBRL化の対象スケジュール
- ➡ 新TDnetに関する今後のスケジュール
- ➡ 新TDnet利用にあたってのシステム環境
- ➡ 現行/新TDnet利用にあたってのシステム環境/期間
- ➡ 試行期間実施内容
- ➡ 端末操作説明
- ➡ 本日の依頼事項

本日の配布資料

- ➡ 手順書【設定】【作成】【提出】
- ➡ (参考) 手順書【事前準備】

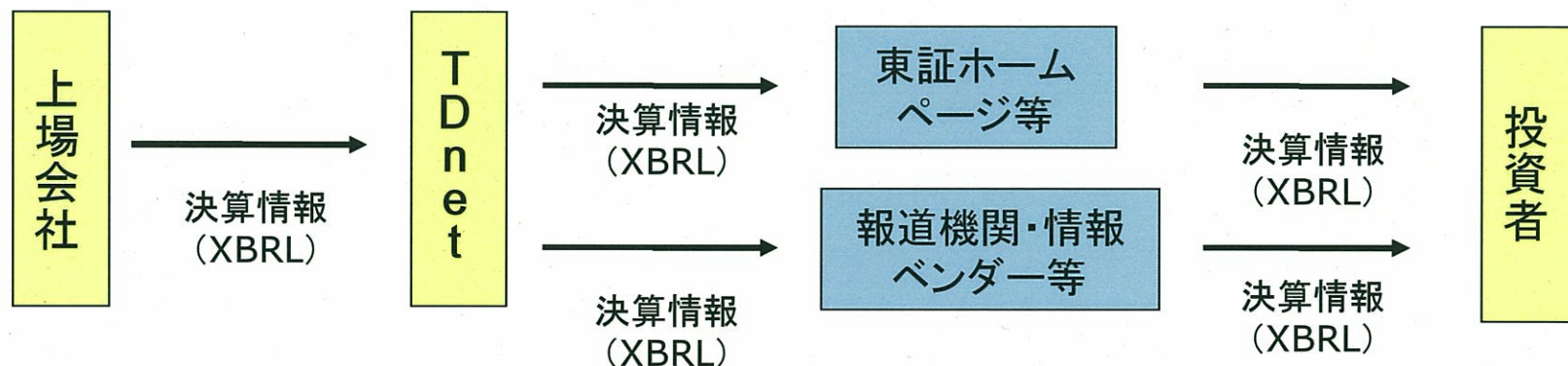
リプレイスに係る基本コンセプト

TDnetのXBRL本格導入に伴うシステム対応及び、2003年4月の稼働から約5年を迎えており、システムの老朽化に伴う対応を踏まえ、以下の基本方針を前提に平成20年7月を目途に新TDnetへリプレイスを実施します。

【基本方針;2006年4月公表】

適時開示制度における決算情報(決算短信等)について、EDINETにおける動向等を踏まえて、2008年度を目途とし、TDnetにおいてXBRLを本格導入する。

- ・ 適時開示制度における決算情報の授受・提供について、XBRLを活用
- ・ 決算短信の1枚目に加え、基本財務諸表をXBRL化の対象
- ・ 登録・配信の具体的な方式など詳細については、利用者のニーズ等を勘案し、今後検討



新TDnetの主な変更点 ①

I. 提出ファイルの取り扱いの変更

1. 従来の決算短信等のサマリー情報、配当・業績予想の修正等に加え、XBRL形式での提出対象に決算短信等の財務諸表を追加
XBRL形式のファイルを適時開示資料の原本として原則提出
(四半期決算短信を含む)
2. XBRL形式での提出対象外の適時開示資料については、従来どおりPDF形式

II. 有価証券報告書との情報の一元化

1. TDnet、EDINETに提出する財務諸表(XBRLデータ)を一元化
2. 新TDnetでは、原則、金融商品取引法に基づいた財務諸表を提出
→上場会社における開示資料作成作業の軽減

※TDnetへの財務諸表のXBRL提出は平成20年10月より実施予定

新TDnetの主な変更点 ②

III. 電子証明書の取り扱いの変更

1. 適時開示資料の作成、提出のための電子証明書を3枚配布
2. 必要に応じて電子証明書(4枚目以上)を有料配布
→上場会社におけるよりきめ細かな情報管理が可能

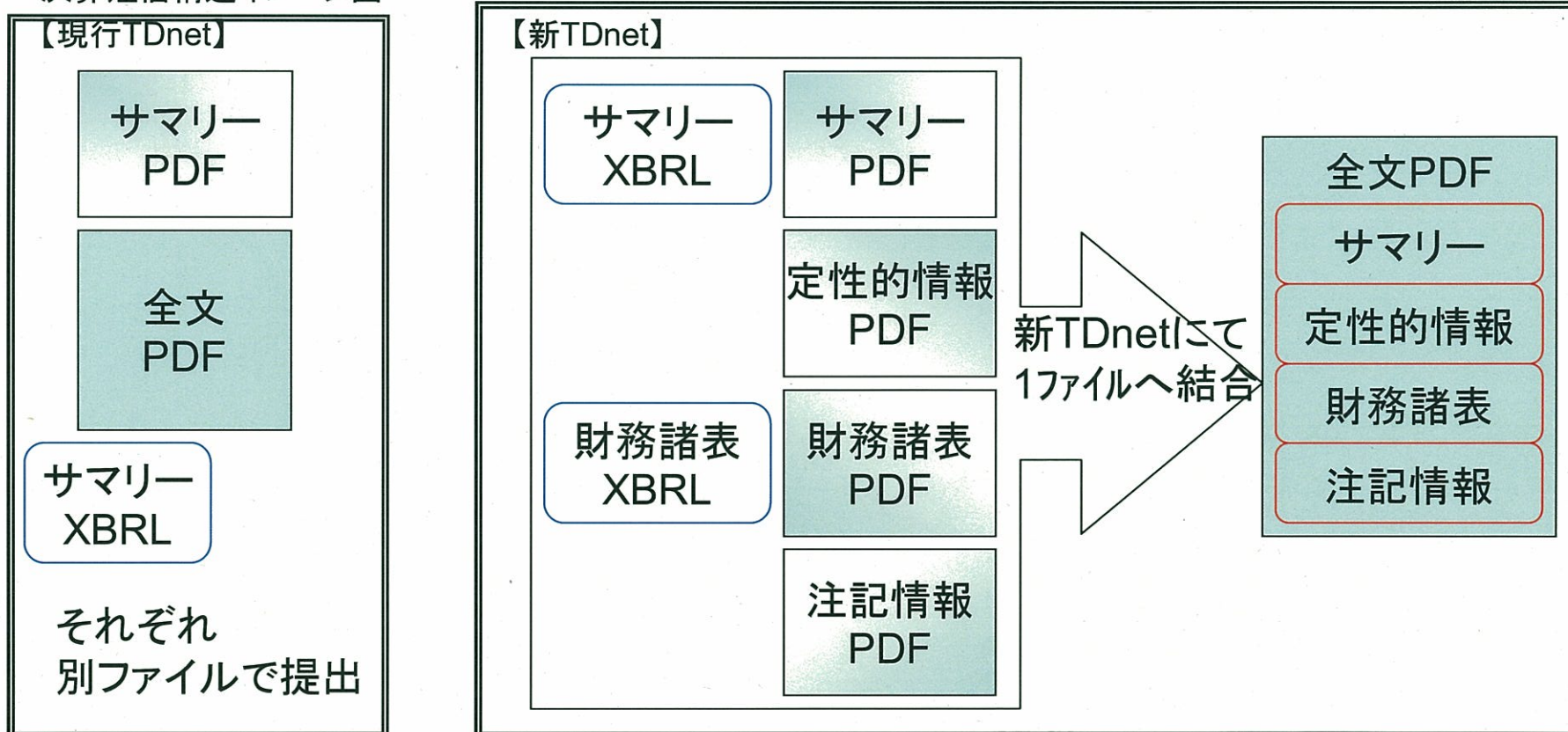
IV. 提出方法の変更

1. 適時開示資料ファイル(XBRL、PDFファイル)について、開示日以前に確定した情報から段階的にTDnetに保存可能(一時保存)
→開示日当日の適時開示資料を提出する際に発生するトラブルを未然防止

決算短信様式の提出方法（現行との相違点）

- 現行TDnetでは、決算短信について、サマリー情報、全文PDF、数値データを提出していただいております。
- このうち、新TDnetでは、サマリー情報、財務諸表について、XBRL形式のファイルで提出いただくとともに、PDFファイルについて、①サマリー情報、②定性的情報、③財務諸表、④財務諸表に係る注記情報の4つのパートに分解して提出していただきます。

決算短信構造イメージ図



新TDnetにおける決算期別XBRL化の対象時期一覧表

決 算 期(注1)、(注2)	サマリー		財務諸表	
	通期決算短信	四半期決算短信(注3)	通期決算短信	四半期決算短信
1月期決算会社	21年1月期	22年1月期 第1四半期	22年1月期	20年10月以降、 新様式で提出される財務諸表
2月期決算会社	21年2月期	22年2月期 第1四半期	22年2月期	
3月期決算会社	21年3月期	21年3月期 第1四半期(注4)	21年3月期	
4月期決算会社	21年4月期	21年4月期 第1四半期	21年4月期	
5月期決算会社	21年5月期	21年5月期 第1四半期	21年5月期	
6月期決算会社	20年6月期 (注4)	21年6月期 第1四半期	21年6月期	
7月期決算会社	20年7月期	21年7月期 第1四半期	21年7月期	
8月期決算会社	20年8月期	21年8月期 第1四半期	21年8月期	
9月期決算会社	20年9月期	21年9月期 第1四半期	21年9月期	
10月期決算会社	20年10月期	21年10月期 第1四半期	21年10月期	
11月期決算会社	20年11月期	21年11月期 第1四半期	21年11月期	
12月期決算会社	20年12月期	21年12月期 第1四半期	21年12月期	

(注1)決算期については、月末決算日を前提(月末決算日以外については、前月期決算会社に準じる)

(注2)上記は、決算期変更等のイレギュラーなケースは前提としていない

(注3)四半期決算短信については、上場会社が平成20年4月以降に開始する決算期から採用することを前提

(注4)通期決算短信サマリー及び四半期決算短信サマリーにおけるXBRL化の時期については、新TDnet稼働後(平成20年7月上旬(予定)以降)が対象

新TDnetにおける決算短信（サマリー）に関するXBRL化の対象スケジュール

  ... 第3次TDnetの利用時期;
 ... 通期決算短信の提出期間
 ... 四半期決算短信の提出期間
 は財表XBRL提出が使用できない期間

	平成20年(2008年)												平成21年(2009年)												平成22年	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2			
1月期決算会社																										
2月期決算会社																										
3月期決算会社																										
4月期決算会社																										
5月期決算会社																										
6月期決算会社																										
7月期決算会社																										
8月期決算会社																										
9月期決算会社																										
10月期決算会社																										
11月期決算会社																										
12月期決算会社																										

新TDnetに関する今後のスケジュール

	2008年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
イベント	リプレース開発期間				②試行期間		△④リプレース稼働予定			△
			説明会		▼①ID・パスワード等の配布		▼③稼働のご案内		⑤XBRL財表対応	

時期	イベント	内容
2008年5月頃	①ID・パスワード等の配布	・新TDnetを利用するためのID・パスワード、ファーストステップガイド等を取引所から配布
2008年5～6月頃	②試行期間 ※当該期間の本番運用は現行TDnetにて実施	・新TDnetでの操作テスト実施 ・新TDnetへログインし、電子証明書の取得、会社情報、決算短信等サマリ情報の設定 テスト用開示データの送信等を実施
2008年6月末頃	③新TDnet本稼働のご案内	・新TDnetの稼働に関する最終的な連絡
2008年7月	④新TDnet本格稼働	
2008年10月	⑤XBRL財務諸表対応版稼働	

※当スケジュールは、システム構築の進捗状況等により、変更される場合があります。

新TDnetの利用にあたってのシステム環境

試行期間の開始(2008年5月初旬予定)までに、各社にて以下のシステム環境の整備が必要です。以下の環境を満たすPCであれば、新TDnetと現行のTDnetを同一のPCで利用することができます。円滑に移行するため早めにご準備していただくことを推奨いたします。

No	カテゴリ	必須条件	備考
1	基本ソフトウェア(OS)	Windows XP または Windows Vista	
2	ソフトウェア	Internet Explorer 7	
		Adobe Reader 8	開示資料の閲覧に使用
		Adobe Acrobat 8	開示資料の作成に使用

Adobe Acrobat 8については、Standard、Professionalはどちらでも構いません。

上記ソフトウェアを搭載するPCを稼働させるためのスペックは以下のとおりです。

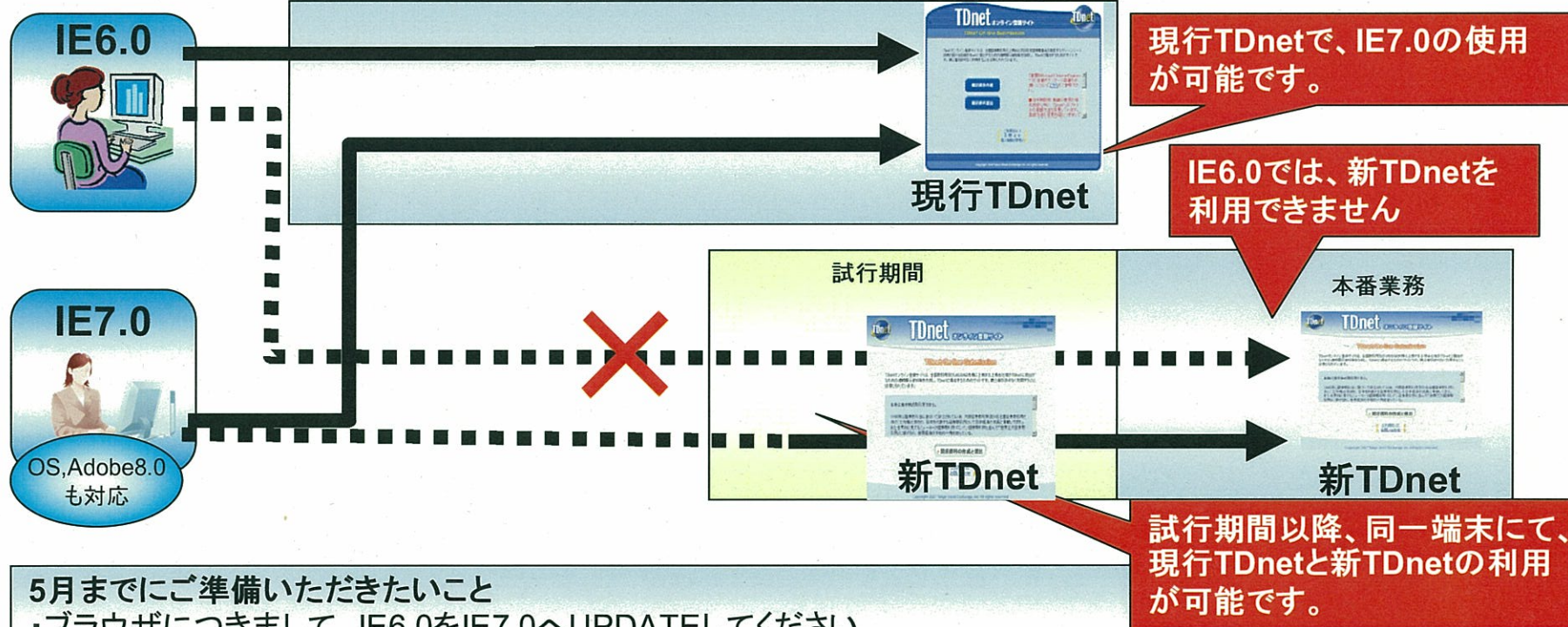
No	カテゴリ	Windows XP	Windows Vista
1	CPU	300MHz 以上	1GHz 以上
2	メモリ	128MB 以上	1GB 以上
3	ハードディスク容量	2GB 以上	40GB 以上

※上記スペックは、PCを稼働させるための最低要件です。実際は、OS、必須ソフトウェアが同時かつ円滑に動作できるスペックのPCの用意が必要です。

現行/新TDnetの利用にあたってのシステム環境/期間

2008年

3月	4月	5月	6月	▼稼働日以降
現行TDnetでの本番運用		現行TDnetでの本番運用 新TDnet試行期間		新TDnetでの本番運用



5月までにご準備いただきたいこと

・ブラウザにつきまして、IE6.0をIE7.0へUPDATEしてください。

※新規調達した端末にて、現行TDnetをご利用の場合、電子証明書の再発行手続きが必要です。

再発行手順につきましては、現行TDnetにログイン後、「ご利用ガイド」をご確認ください。

試行期間実施内容

5月初旬～中旬にかけて各取引所からID/初期パスワードを郵送します。

事前準備

- I. ログイン【1分程度】
 - ・ ID管理用サイトにアクセスし、ログインを行います。

- II. パスワード変更/メールアドレス入力【5分程度】
 - ・ ログイン後、初期パスワードを変更します。
 - ・ 初期メールアドレスを変更します。

初期パスワード有効は
7月20日頃まで

セミナーでは5月30日でご案内しておりましたが、有効期限を延長したため7月20日頃までに変更しております。

- III. 電子証明書取得【15分程度】
 - ・ 電子証明書サイトへアクセス後、電子証明書を取得します。

設定

- IV. 会社基本情報設定【5分程度、途中保存が可能】
 - ・ 会社基本情報画面より、決算期、取扱責任者を登録します。

- V. 数値データ(XBRL)様式の設定【20分程度、途中保存が可能】
 - ・ 数値データ(XBRL)様式の設定より、決算短信様式を作成します。

作成

- VI. 開示書類作成【30分～1時間程度、途中保存が可能】
 - ・ 決算短信入力画面より数値(テスト用の任意の値)を入力し、短信サマリPDFを作成します。
 - ・ 作成したサマリPDFをアップロード、他のPDFと結合し決算短信PDFを作成。

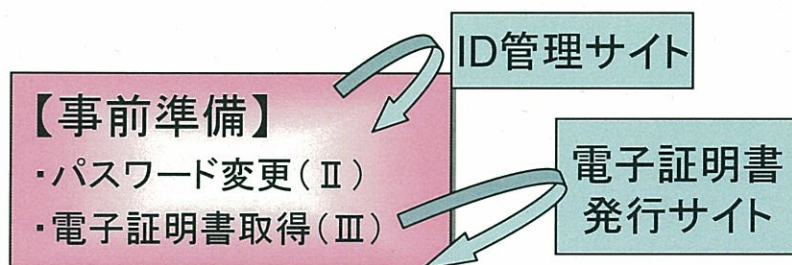
提出

- VII. 開示書類提出【10分程度、途中保存が可能】
 - ・ 提出画面から、インデックス情報(表題、公開項目)を入力し、決算短信を提出/開示します。

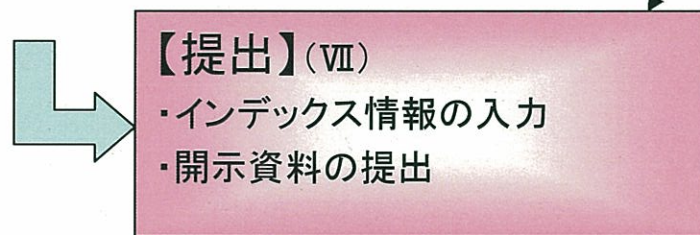
試行期間実施内容

試行期間実施内容に際しては、以下のフローを参考としてください。

<登録サイト画面>



開示情報の作成と提出



数値データ(XBRL)様式の設定

開示資料の雛形参照

上場会社DBS

開示情報の新規作成と提出

数値データの追加訂正

数値データ以外の訂正

開示情報の継続作成と提出

提出済開示情報一覧

その他

会社基本情報の設定・確認

開示担当者情報の設定・確認

上場管理担当者の確認

本日の依頼事項

I. 試行期間までの準備

- 端末の準備

II. 試行期間に必ず実施して欲しいこと

- ログイン作業、パスワードの変更作業
- 四半期様式のカスタマイズ



初期パスワード変更は
5月31日までに

【参考】XBRL Japanの紹介

□ XBRL Japan の活動

- 現在、XBRL Japanには、日本公認会計士協会をはじめ、監査法人、ディスクロージャー支援企業、財務情報サービス会社、ソフトウェアベンダー、金融機関等、主に財務情報サプライチェーンに関する組織がメンバーとして参加しています。

XBRL Japanの主な活動内容は、以下の通りです。

- ・ XBRLを利用した実証実験の実施
- ・ 上位団体であるXBRL Internationalで策定された技術仕様への日本からの提言活動
- ・ 関係団体へのXBRLの普及・啓蒙活動、各種セミナーの開催
- ・ XBRLの作成者(上場会社等)・利用者に関する教育

XBRL JapanホームページURL : <http://www.xbrl-jp.org/>

□ 会員の募集について

- XBRL Japanの会員には、EDINETをはじめとする我が国におけるXBRLに関する最新の動向、社内でのXBRLの活用方法等の各種情報を提供しています。会員のみに入手可能な情報もありますので、XBRLに興味・ご関心のある方は、上記ホームページをご参照ください。

- ・ 一般会員:募集中(上記ホームページより入会申込書をダウンロードしてお申し込みいただけます)
- ・ 準会員:募集中(上記ホームページより入会申込書をダウンロードしてお申し込みいただけます)

※XBRL Japanへの会員登録は、取引所として強制するものではありません。各社必要に応じてご検討ください。